

令和4年度 海津明誠高等学校学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 海津明誠高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月10日(木) 13:10～15:35
- 3 開催場所 海津明誠高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観及び施設見学を実施した。
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|-----|----|------------------------|
| 会長 | 森 | 元則 | (海津市商工会副会長) |
| 副会長 | 杉野 | 照美 | (岐阜県公立幼稚園等新規採用教員研修指導員) |
| 委員 | 水谷 | 初代 | (更生保護女性会高須地区支部長) |
| | 宮脇 | 和義 | (JAにしみの海津区域統括グループ長) |
| | 金澤 | 恵子 | (同窓会) |
| | 安藤 | 敦 | (PTA会長) |
| | 渡辺 | 博邦 | (株式会社渡辺組 代表取締役) |
| | 伊藤 | 久 | (サンリバーはつらつ事務長) |
| 学校側 | 中村 | 豊 | 校長 |
| | 滝 | 一男 | 教頭 |
| | 曾根 | 章好 | 教頭 |
| | 鈴木 | 尚己 | 事務長 |
| | 山田 | 富己 | 教務主任 |
| | 佐藤 | 圭司 | 進路指導主事(欠席) |
| | 小田切 | 淳 | 生徒指導主事 |
| | 河合 | 豊美 | 特別活動部長(欠席) |
| | 水谷 | 浩也 | 健康教育部長(欠席) |
| | 中島 | 匡弘 | 商業科主任 |
| | 酒井 | 美也 | 生活産業科主任 |

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶

(2) 授業参観及び校内施設見学

- ・普通科、ビジネス情報科、生活デザイン科の授業参観
- ・施設見学

(3) 「生徒、保護者等を対象とするアンケート」結果について

- ・「生徒、保護者等を対象とするアンケート」の結果の分析を資料に基づき説明

(4) 地域連携について

- ・今年度の行事等の実施状況を資料に基づき説明
- ・本校における新型コロナウイルス感染症の状況を説明

(5) 委員からの主な意見・要望等

意見1：少人数での授業により、生徒と教員とコミュニケーションが取れていた。新型コロナウイルス感染症第8波が近づいているが、コロナ後にどのようにするか必要な活動や行事を精選してほしい。

意見2：校内がきれいで掃除が行き届いている。教員が若々しくて良い。特に若い教員には頑張してほしい。

意見3：生徒、保護者等を対象とするアンケートの結果がとても良いが、鵜呑みにすることなく、今後も注視してやってほしい。新型コロナウイルス感染症のため、外部との接触や人との関わりが制限された結果、失なわれたものがあるだろうが、そのカバーをどこかでしてほしい。

意見4：どの授業も教員が一所懸命だった。教員と生徒に動きがある授業があり、とて

も良かった。

意見5：生徒は意欲的に学習している。PTAの活動については新型コロナウイルス蔓延前のようなことはできていない。

質問1：生徒、保護者等を対象とするアンケートの結果から、生徒は家で学習していると答え、親は学習しているようには見えないと答えている傾向が見受けられる。これについてどう考えるか。

⇒家庭学習については、生徒の自己評価は甘く、保護者の目は厳しいのではないかと。アンケートの他の項目と比較すると、家庭学習については生徒、保護者ともに評価が低いので、できていない者が多いことは事実ととらえてよい。

意見6：静かで落ち着いた授業だった。英語の授業では4～5人の生徒が英語で活動していてすばらしかった。音楽の授業では女子生徒の中に男子生徒が1人でハンドベルをやっており、教員の工夫がうかがえる。教材や機器が万全であるよう来年度に向けて少しでも改善できるとよい。

意見7：静かで良い学校という印象だった。皆が一所懸命頑張っていると感じた。

意見8：部活動に加入している生徒が少ないと聞いている。中学校でも、教員の働き方改革で土日の部活動を外部委託し、そこへの加入率を当初60%と想定したが、実際には少なかった。部活動に参加しない代わりに勉強しているかというところでもない。生徒が時間の活用法を見定めていけるよう指導してもらえるとよい。⇒部活動は全体的に強制加入ではなくなっている。学校によって加入率に違いがある。本校は低い方である。しかし強化指定部でなくても全国大会に行っている。本校では技術力向上だけでなく下手でも加入して活動することが大切かもしれない。

質問2：平日に企画された外部団体の催し物に対して、生徒のボランティアを依頼してもよいか。

⇒平日のボランティア活動は難しいと考えられるが、商業科等の活動でできないか検討する。

6 会議のまとめ

- ・令和5年度入学者選抜の本校定員が発表され、クラス数は変わらないが、生活デザイン科が減員となった。今後本校の良いところを発信し、広報活動を行っていきたい。ホームページ更新をこまめにやっているが、保護者等に来校してもらうことも大切である。
- ・日本の今後を考えると、個人の力が大切で1人1人の力を伸ばさないといけない。本校では若い教員が活躍している。若い人から学び、生徒のために新しい事業を行っていきたい。